

令和6年度 学校評価(児童生徒)

対象学部【全児童生徒】 n= 143 / 405 35.3
 回答者数 児童生徒数 %

※ 80%以上、80%未満を基準に良好、要改善について考察

◎とても思う ○やや思う ▲そう思わない ×全く思わない

領域	No.	項目	評価内容	◎	○	▲	×	無回答	回答者数		%表示		わからない 無回答	(良好 ■ 要改善: ■ わからない: ■)
									(◎○良好 ▲×要改善)	(◎○良好 ▲×要改善)	(◎○良好 ▲×要改善)	(◎○良好 ▲×要改善)		
学校運営	1	学校運営	学校はたのしい。学校生活は充実している。	86	43	11	3	0	129	14	90	10	0	
	2	人権意識	先生は、よくほめてくれる。認めてくれる。	77	53	10	2	1	130	12	91	8	0	
教育活動・ 進路指導	3	教育活動	学習発表会、運動会、宿泊学習、修学旅行などの、学校行事はたのしい。	91	34	10	4	4	125	14	87	10	0	
	4	児童・生徒会	私は、係活動や日直、当番など児童会や生徒会活動に取り組んでいる。	76	46	14	6	1	122	20	85	14	0	
	5	学習指導	先生はわかりやすく勉強をおしえてくれる。	93	44	4	1	1	137	5	96	3	0	
	6	ICT活用	授業で、iPadやパソコンを使っている。	83	51	6	1	2	134	7	94	5	0	
	7	進路指導	先生は、私たちのこと、将来のことについて、よく考えてくれる。	90	40	12	1	0	130	13	91	9	0	
生徒教育 指導相談	8	教育相談	先生は、悩みにや相談にのってくれる。	81	45	14	3	0	126	17	88	12	0	
	9	生徒指導	先生は、マナーやルールについて、おしえてくれる。	98	37	2	4	2	135	6	94	4	0	
	10	いじめ防止	先生は、学校の友達のこと、困ったときに助けてくれる。	91	41	6	2	3	132	8	92	6	0	
健康・安全	11	給食/食育	先生は、食事の大切さについて、おしえてくれる。	85	43	12	3	0	128	15	90	10	0	
	12	健康教育	先生は、健康な体をつくるために、どうすればよいか、おしえてくれる。	91	40	9	3	0	131	12	92	8	0	
	13	安全教育	先生は、地震や火事などのときの避難する方法や交通安全についておしえてくれる。	99	36	4	3	1	135	7	94	5	0	

所属学部(全児童生徒)

考 察

80%以上	<p>①13項目すべてにおいて80%以上の良好な評価を得ている。うち、10項目が90%以上であった。</p> <p>②No.5「学習指導」No.6「ICT活用」、No.9「生徒指導」、No.13「安全教育」の項目では、「とても思う」と回答した児童生徒数の割合も高く、児童生徒にとって「何を学んだか」がわかる学習指導が行われていると考察する。No.6「ICT活用」については、保護者アンケートでは要改善となっているが、児童生徒においては、良好な評価の上位項目である。学習場面において、ICTを活用していると児童生徒が実感していると考察する。</p> <p>③No.13「安全教育」については、日々の学習活動に加え、就業体験や校外学習、避難訓練等でその有効性を実感できたことが、それらについての意識の高まりにつながっていると考えられる。</p> <p>④No.「生徒指導」において良好な評価が高いことについては、マナーやルールの指導が児童生徒の実感となって表れていると考察する。</p> <p>③特に「とても思う」の回答率が高かったのは、「安全教育」(火事や地震の避難方法、交通安全)、次いで「生徒指導」(先生はマナーやルールについておしえてくれる)であった。生活に身近な内容が、児童生徒にとって意識を向けやすいと考察する。</p>
80%未満	<p>該当項目なし。</p>
その他考察	<p>①全幼児児童生徒405名に対し35.3%の回答率であった。前年度より低下しており、改善事項である。</p> <p>②各学部の回答率は、小学部2%、中学部29%、高等部54%、美里分教室100%、センター分教室95%となる。</p> <p>③児童生徒の声を聞く機会として、回答率の向上に向け改善していく。対応策として、回答できる時間を確保できるよう、行事との重なりを避ける、期間設定を眺めに設けるなど各学部で工夫する。また、児童生徒の実態によって、質問内容をわかりやすく伝えることに留意していく。</p> <p>④要改善に注目すると、No.8「教育相談」(12%)、No.4「児童・生徒会」(14%)で会長した児童生徒がいることに注視しなければならない。しかし、No.4は前年度より大幅に改善しており、児童会、生徒会だけでなく、係活動や当番など様々な役割意識が育まれていると考察する。</p>